



広報みまた



地域住民の生命財産を災害から守る重大な任務を担っている消防団

(写真)通常点検を受ける団員(第7部)

57 / 9月号

長田小学校改築に着工 来年二月末には完成予定



110周年を迎えた校舎全景

長田小学校は明治五年五月に創立されて以来、幾多の厳しい試験を経て地域の伝統を受け継ぎ、教育文化の向上に勤しんで来ました。その効果はあらゆる面にあらわれております。

この長田小学校も今年で百周年を迎え、校舎も老朽化が著しいため今年度本校の主要事業の一つとして計画が進められておりました校舎改築も、去る八月二十日から工事も始まり、現在地に新しく鉄筋コンクリート二階建のデラックスな校舎が新築されます。



杭打工事風景

総工費は一億六千四百六万四千円で、建築主体工事は一億四千六百万円、電気設備工費は八百六十四万円、給排水衛生工費は一千万円となり、来年二月末には完成することになっております。

この為児童は、運動場に仮設されたプレハブ校舎で、当分の間勉強することになるため、去る八月二日から四日まで引越しを行いました。

二学期も始まり、児童達は不便を感じながらも新校舎の完成を楽しみに、暑い中元気に勉強に励んでいます。

三股町消防操法訓練大会

きびきびした動作に拍手



操法大会風景

三股町消防操法訓練大会は、去る八月六日暑い日さしの照りつけるなか、三股小グラウンドに町内各部の七チーム（小型ポンプの部）と本部（自動車ポンプの部）の百四十二名が参加して行われました。

これは消防精神を涵養し、規律のある団体行動の敏速と適正な機械操作を日頃練習した基礎訓練大会だけに、どのチームも我が部こそと意気こむ精銳ぞろいで、気迫充分で競技が繰り上げられました。

この操法訓練は寸秒を争う迅速な行動、正確な判断、確実な動作を競うこの大会は、観衆のかっさいをあげ、日頃の訓練のはげしさを示しました。



優勝した本部団員

都城北諸地区大会

自動車ポンプの部で優勝

町大会の第一位の二部と第二位の一部が、それに自動車ポンプの部の本部が、去る九月二日都城給食センター前広場で開かれた都城北諸地区大会にコマを進め、それぞれの各町を代表する強豪と競い合い、その活躍ぶりはまさに三股町消防団の気迫に圧倒された感じでした。

競技の結果は次のとおりです。
自動車ポンプの部（本部）優勝
積載車の部（第一部）第二位
小型ポンプの部（第二部）第二位
優勝した本部は九月十四日宮崎市で行われる県大会に出場します。健闘を祈りましょう。

9月15日は敬老の日

現在、我が国の六十五歳以上の老年者は、一千万人を超え、総人口の約九%を占めています。

この割合は今後ますます増えるものとみられ、三十三年後の昭和九十年には二十%を超えることが予想されています。

9月15日～21日老人福祉週間 みんなで築く豊かな老後

「健全な精神は健全な肉体に宿る」と言いますが、心と体は密接な関連を持っており、体の病気が精神疾患を引き起こすことが多いのです。

心の健康も

「健全な精神は健全な肉体に宿る」と言いますが、心と体は密接な関連を持っており、体の病気が精神疾患を引き起こすことが多いのです。

第二地区A 町子ども会球技大会



開会式風景

町子ども会育成連協では去る八月二十二日旭ヶ丘運動公園で、子ども会ソフトボール大会を盛大に開催しました。

この大会は夏休みにおける青少年の非行防止と、青少年の健全な心身の鍛錬、また子ども会員の親睦と融和を深めることを目的として行われたものです。



この敬老の日、老人福祉週間の運動は、すべての国民がこれまで多年にわたって、社会に貢献してこられたお年寄りを敬愛し、長寿を祝うとともにお年寄り自らも常に心身の健康に注意し今日まで培ってきた知識と経験を一層社会に役立てていただくというものであり、また、すべての人々がお年寄りの福祉について関心と理解を深め、生きがいのある社会をみんなで築いていくことを目的としているも

各地区の子ども会から十三チームが参加し、八時から開会式が行われ第二地区Aチームの蔵元和幸君（六年生）が日頃の練習の成果を発揮しますと力いっぱい選手宣誓を述べました。



熱戦が繰りひろげられた大会風景

思いやりとゆずり合いの心で 9月21日～30日 秋の全国交通安全運動



九月二十一日から三十日までの十日間、全国一斉に秋の交通安全運動が行われます。この運動は、町民一人ひとりが交通ルールとマナーを身につけて、交通事故をなくするために行うものです。交通事故は被害者の家族だけでなく、加害者の家庭の幸せをも奪ってしまいます。この機会に交通事故のない安全で明るい生活環境をみんなで作くりましょう。一人ひとりの思いやりとゆずり合いの心」が交通事故を防ぎます。

交通安全は家庭から 守ろう交通ルール

楽しかった夏休みも終って新学期が始まり、子ども達は夏休み中の不規則な生活や気のゆるみなどから、正しい交通ルールや安全な動作を忘れ、事故にあっている子どもが少なくありません。

一方、ドライバーにとっても、夏の終りから秋にかけては、夏の疲れが出て体調をくずしやすいつ時期でもあります。そこで歩行者、自転車利用者、ドライバーなどが、それぞれの立場で交通安全に心掛け、交通事故の加害者や被害者とならないように、各家庭で交通安全について話し合い注意し合ひましょう。

つきのことよく守り、事故防止に協力して下さい。

一、歩行者

●車の直前直後の横断やとび出しはやめましょう。

●道路に出るときや交差点では必ず左右の安全を確認しましょう。

二、自転車、二輪車

●交差点では必ず止まって安全を確認しましょう。

●夜間は必ずライトをつけましょう。

●自転車も必ず安全点検しましょう。

三、ドライバー

●安全運転五則(①安全速度を必ず守る、②カーブの手前でスピードを落とす、③交差点では必ず安全を確認する、④一時停止で横断歩行者の安全を守る、⑤飲酒運転は絶対(しない)を励行しましょう。

●シートベルトを必ず着用しましょう。

『がん』

死因順位のトップ

早期発見・早期治療を

がんが脳卒中を抜いて一位に、また、全死亡者数に占める「がんによる死者」の割合は二二・一％で、亡くなる人のおおよそ四人に一人はがんが原因となっています。

がん予防ーがんに対する正しい知識を身につけて、適切な予防と早期発見に心掛けましょう。

早期発見・早期治療が最も有力

一、胃がん

日本人のがんの特色は、胃がんが圧倒的に多いことです。しかし、食生活の変化や検診による早期発見が可能になり、胃がんによる死亡率は減少しております。

二、肺がん

一方、これから増えると思われるのは肺がんです。肺がんについては、喫煙量が多いほど、また喫煙開始年齢が若いほど発生の危険性は増大すると言われています。

三、子宮がん

女性特有のがんで、乳がんは女性ホルモンのバランスの乱れが原因と言われます。保健婦さんなどの指導を受け、早期発見を心掛けて下さい。

四、乳がん

女性特有のがんで、乳がんは女性ホルモンのバランスの乱れが原因と言われます。保健婦さんなどの指導を受け、早期発見を心掛けて下さい。

その理由は、一つ、規制をゆるめるとだんだん服装が乱れてきて、しまいはどうしようもなくなくなるといった例が多いからです。それで失敗した学校は、都会には多いのです。

それと、都会の番長クラスの子ども達の服装には「番長ルック」というものがあり、いなかの子どもも、すぐそれをまねる傾向があります。たとえば、男の子がボタンと上から二つ目までのボタンを外しているのも、女の子がスカートのたけを長くしたり、胸もとを少しあけているのも、実は、その番長ルックの一部なのです。そういう服装をして、同級生や下級生に見せびらかす子どもは、いなかの学校にも多いのです。それで、学校では神経質にならざるを得ない、というわけです。また、中学生の男の子が帽子をかぶりたがらないのも、一つの流行で、学校側の気になる問題の一つです。

服装の問題は、ほかにもいろいろありますが、このぐらいにして、次回から、子どもの非行を防ぐ方法について述べます。

青少年問題について(その2) 非行の前ぶれと服装

教育長 岩崎 宣雄

前回は、少年非行のあらましについて述べましたが、今回は、非行の前ぶれや服装のことについて述べたいと思います。なお、前回の文章で、一番上の段の二十一行目に「昭和四十五、六年と二十一年のピークがあり」とありますが、これは、昭和五十五、六年の誤りです。訂正しておわびを申し上げます。

さて、子どもたちが非行に走る時は、いろいろな兆候、すなわち「前ぶれ」のようなものが、必ずあります。子どもの行ないをよく注意してみれば、それがわかるのですが、子どもの行ないをよく注意してみれば、それがわかるのですが、子ども達の行動をよく注意して見ないで、つい見逃してしまふようなことがあります。ですから、気をつけてください。まず、最初に表われる兆候は、今まででおおだつた子どもが、口答えをしたり、何となくイライラしたり、ソワソワして落着きを無くしたりすることです。こんな時は、子どもに何か起っているのです。学者は、この現象を「情緒不安定に陥つて」と言っています。しかし、この情緒不安定は、少年期の特徴でもあり、必ずしも、非行とは結びつきませ

んが、少々、とも、非行と結びついている場合がある、ということはいえます。それに非行と結びついていなくても、何か起っているわけですから、よく注意して、やさしくことばをかけ、悩みがあれば聞いてやるぐらいの配慮がほしいものです。

次に気をつけなければいけないことは、金づかいです。子どもの金づかいが荒くなり、金をせびつたり、黙って家の金を持ちだしたり、つり銭などをごまかしたりするような時は、必ずといってよいほど、裏に、何かの非行があります。そんな時は、必ずそれを問いただしておかないと、非行が大きくなります。

三番目に気をつけなければならぬことは、外出のことで、行き先も言わないで外出することが多く、帰る時間が遅かったりする時は、要注意です。学校に行くのがたりするの、もちろん、要注意なのでありますが、これは、どの親も関心を持っているので、すぐ注意しますが、外出には、案外無関心な親や、大目にみすぎる親が多いようです。よく注意してください。

四番目に注意してほしいことは、持物のことです。カバンや紙袋に

町の話題



夏休みを利用して中学生が調理実習
環境保健課では、中学1年の女生徒を対象に、夏休みを利用して調理実習を中央公民館で開きました。これは、国民健康保険事業の一環として、思春期から正しい食生活を身につけ、心身ともに健康の保持増進を図るため実施したものです。1日3時間ずつ4日間、保健所の食品衛生技師、栄養士を講師に思春期の栄養のとり方、食品衛生、冷蔵庫の使用法、貧血の予防等を講義と調理実習を通じて学びました。今後の食生活に活用されることを期待したいと思います。



賑わった盆踊り大会
町青年連協による盆踊り大会は、うら盆あけの翌17日、午後7時30分から三股小グラウンドで賑やかに開かれました。日頃練習した踊りを各地区で13日から披露したものを、この日は町婦人連協と共催で行なったもので、グラウンド中央にはやぐらが組まれ、周囲には万国旗が飾られて灯りがとまり、盆踊りの雰囲気は十分、青年と婦人会がやぐらで手本を示し、踊りの輪も広がり時を忘れて夜遅くまで、涼と想いを満喫する老若男女で賑わい、夏の夜を心ゆくまで楽しみました。



老人大学(講演会)開催 第7地区老人クラブ
第7地区老人クラブ(会長山元光雄、会員150名)では、先程地区公民館で老人大学を開催しました。老人クラブは町内各地区毎に28クラブで、それぞれの会員同士が積極的にクラブの行事に参加し、健康増進、教養の向上に努めています。今回は7地区会員が一堂に会し県老年開発講師団の穂満ミエ氏による「老人と家庭生活について」今や老人問題は社会全体の問題であり家族制度の変革など問題があります。…社会や家庭から愛される老人になりましょうと講演され参加者は熱心に聞き入っていました。



休猟区にキジ140羽放鳥
農畜産課では北諸県農林振興局の協力をえて、去る7月27日3ヶ所の休猟区(高才原、走持、小サギス)に140羽のキジを放しました。この日放鳥したのは県内の養キジ場で90日間育てられたもので、昭和55年以降休猟区に指定されている島津紅茶園、つづじヶ丘、大平公園一帯に同振興局員や猟友会員、鳥獣保護委員らが「すくすく育ててねー」の願いをこめて放す広い自然の野山に勢よく飛び立って行きました。

話 題

各地区の児童館運営委員会開催
福祉生活課では、先程町内12の児童館の運営委員会を開催しました。この運営委員会は、子ども達のレクリエーションや学習の場としての児童館を、より多くの子ども達が利用できるように行われたもので、利用時間、休館、ボランティア活動などについて、各委員より活発な意見が述べられ、まず利用時間、休館については季節によって考慮し、ボランティア活動については、子ども達の健全育成、しつけ等についてご指導下さる方を呼びかけるようになりましたのでご協力下さい。



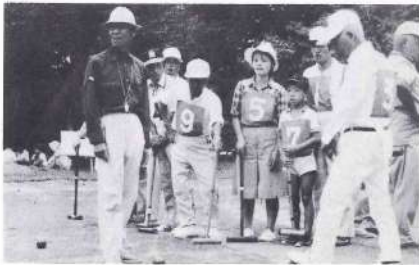
町立病院でしめやかに慰霊祭
町立病院では、去る8月11日、過去1年間に不幸にも他界された故大盛義光殿を始めとする37柱の合同慰霊祭が遺族の参列するなか、しめやかに行われました。1階、物療室に祭壇が設けられ、まず町長、院長の哀悼の辞があり、ご家族の方々も誠心誠意手厚い看護をほどこされ、1日でも早く退院される日を祈り、心待ちにされていたことでしょうか、述べられました。また、説教の流れの中で焼香が進み、参列者は改めて深い悲しみにつつまれて、故人の安らかな冥福を祈っていました。



ヤクルトを運転者に配布し安全運転を呼びかけ
町交通安全婦人部(部長中西初子)と町婦人連絡協議会(会長白井ミツ)では、去る8月2日東高校前で運転者にヤクルト500本とステッカー(あなたはお酒を飲んでいませんか)を配布して、安全運転を呼びかけました。ヤクルト配布には婦人部21名に都城警察署より3名、町交通指導員3名が協力し約1時間で配布しました。運転者には「これからも安全運転に心掛けます」と話していました。これからもお互いに交通ルールを守り安全運転に心掛けたいものです。



賑わったファミリーゲートボール大会
町教委では去る8月1日早馬公園と塚原公園に各家族の22チームが参加し、ゲートボール大会を開きました。これは各地区の家族間をゲートボールを通じて親睦と融和を図り健康を増進する目的で開いたもので、今年で2回目です。天候に恵まれ、家族が声援する中で好ゲームが展開されました。一方、昼食時には手造りの弁当を囲みながら親子での語りなど楽しい1日を過ごしました。高、成績は次のとおりです。
一位 草留久光チーム (第六地区)
二位 内村武雄チーム (第八地区)
三位 神宮司学チーム (第一地区)



おしらせ

図書館だより

●開館時間の変更について
十月一日から二月二十八日まで開館時間が次のように変わります。御協力をお願いします。
開館時間 午前九時から午後五時まで

●図書への寄贈について
さき程次の方々から貴重な図書のご寄贈がありました。
誠にありがとうございます。

- 柏田 功さん(植木)
- 森 恵美子さん(植木)
- 松原留美子さん(植木)

国民年金額が引き上げられます

●提出制限国民年金(八月から引上げ)について
九月の定期支払期に六、七月分は旧年金額で、八月分は新年金額を支払われます。

●福祉年金(九月から引上げ)について
次のように増額されます。

- 老齢福祉年金
二万四千元 → 二万五千元
- 障害福祉年金
(一級)三万六千元 → 三万七千七百円
(二級)二万七千円 → 二万五千五百円

母子、準母子福祉年金
三万七千七百円 → 三万七千七百円



就業構造基本調査……10月1日
10月1日を中心として、全国で「就業構造基本調査」が行われます。調査員が伺います。協力をお願いします。

地域ぐるみで少年の

非行・家出防止を

夏休みも残り二学期が始まりました。九月は年間を通じて少年の非行や家出が最も多い時期です。

これは、夏休み中の不規則な生活や気のゆるみなどから、遊び癖がつき勉強嫌いとなつて、「不純異性交遊、金銭乱費、不良者との交友、親子間の不和」などから非行や家出が目立つて多くなっています。非行や家出に走らせないためには家庭や学校、職場、地域社会がお互いに手を取り合つて、地域ぐるみで少年の非行、家出を防止しよう。

油断していませんか、こんな時に感電事故が起きています。

建築現場における作業者の感電事故が増加しています。配電線の近くで作業されるときは、触れないように十分注意して下さい。こんな時に事故が起きています。

●鉄骨組立作業等でクレーンを使用される場合の接触事故
●ダンパーカーで荷台の上げ下ろし作業を行う場合の接触事故



一般寄付

東原 下園玲子さん
電動ミシン一台

社会福祉に役立てて下さいと、寄贈されました。本当にありがとうございます。

9月の納税 固定資産税 第2期分

10月は県町民税、保険税3期分の納月です。

●愛のご寄付
三股町社会福祉協議会では思明寄付を次の通りいただきました。故人の冥福をお祈りいたしますと共に社会福祉進展のために有意義に利用させていただきます。
昭和五十七年八月一日から
昭和五十七年八月三十一日まで
寄付者名 続納故人名 地区 金額
久保国義 妻 寛子 谷 二万円
大脇 幸子 夫 国雄 勝 岡 五万円
久保ノブ 夫 澄男 中米満 二万円
今井 正義 母 ヒサ 今 市 二万円
久野 木吉 水子 弘 大さき 三万円
西 透母(ミツ) 中米満 二万円
中石 正信 妻 利子 上米満 二万円

三股町の人口
昭和57年9月1日現在
人口 18,258人 出生 28人
男 8,664人 死亡 5人
女 9,594人 転入 91人
転出 61人
世帯数 5,589戸
前月比 +53人

昭和五十七年九月十日発行第一六七号

発行 宮崎県北諸県郡三股町 編集職員課